

## 「サマースタジオ2013」参加者募集

今年度も日本造園学会・関東支部企画にて、第9回学生デザインワークショップ「サマースタジオ2012」を開催いたします。造園、建築、都市デザインを学ぶ学生が集い、デザインを通じてお互いの感性を高めあい、議論を深め、社会的な課題に対して具体的な提案をまとめ、課題対象地の土地・都市の将来像を描きます。今年度は昨年に引き続き、福島県石川町における現地での合宿や報告会を予定しています。計画・設計実務者の指導のもと行われる講習会、合宿や発表会における地元関係者との交流や真剣な議論は、今後の貴重な財産となるでしょう。興味とやる気のある方は、奮ってご応募ください。

### テーマ 『原発の被害を受けた土地と向き合う 2013』

東日本大震災における原発事故の最大の被害をうけた福島県では、いまだに今後の将来像を描けていない地域が多い。放射線量の程度にかかわらず、風評被害として全県で生活・産業に深刻な影響が続いている。福島の復興なくして東北の復興はないとも言われている。

度合いの異なる被害状況の中でもは福島第一原発から60KM圏に位置する福島県石川郡石川町に注目する。石川町は原発事故の避難指示解除準備区域(20km圏)に近接しながらも放射線量の非常に低い自治体、いわゆる「クールスポット」ともいわれる地域の最前線に位置する。そのため、原発事故の被害を受けた土地の復興のための後方支援の拠点ともなる可能性は高い。一方で、原発事故から派生した風評被害の克服が地域に重くのしかかる課題ともなっている。また、原発事故がなくとも高齢化や過疎化が進行する地域でもあり、地域活性化のためのアイデアが求められている。

サマースタジオでは現地でのワークショップにおける地元関係者との対話や現地環境の視察を通じて、生活や生業などに関わる具体的な課題や活かすべき環境資産を見だし、解決のためのアイデアや土地・大地との繋がりの中で「再び人々が豊かに暮らすことのできる」福島の将来像について考えていく。

同テーマでのワークショップは2012年度から石川町で開催され、今年は2年目となる。2012年度(1年目)は、主に「風評被害克服」に重点おいた町と周辺地域も含んだ活性化のアイデアの検討をした。2年目となる2013年度では、「原発周辺地域から避難された人々が石川町で生業を営むことのできる土地の活用・再生案の検討」を行う。石川町と周辺地域との横のつながりに重点をおくものとなる。今年は3カ年連続したプログラムの2年目にあたり、昨年度に得られた知見や提案内容をベースに、更なる展開と深化を追求していきたい。

対象地：福島県石川郡石川町

(2013年5月の平均放射線量は0.064 $\mu$ SV/h(石川町役場))

実施体制：公益社団法人日本造園学会関東支部主催・同東北支部協力・石川町共催

後援：NPO法人ふくしま風景塾

## ■概要

### ○目的：

国土・都市形成におけるランド（土地・大地）のデザインの役割を重視し、そのプロセスにおいて、他大学の学生と議論を深め、自主的に考え、学ぶ機会を設ける。これにより、将来を担う幅広い視野を持った人材育成の一助とする。そして、社会性をもったランドスケープデザインを学生とチューター（教員、計画・設計実務者）が強く意識して取り組み、課題地域の土地・都市の将来像を描くものとする。

### ○ワーキング：

PHASE-1 現地ワークショップ（現地視察・関係者交流・将来像のブレスト）（必須＊）

PHASE-2 現地ワークショップ後のブラッシュアップ、中間発表、最終発表

具体作業：調査・計画・設計のプロセスを経て、図面、パネル、模型等の制作を行う。また、講評会用のプレゼンテーション資料を制作する。

＊12月の地元報告会までの継続参加が望ましいが、PHASE-1 現地ワークショップの参加のみでも可とする。

### ○参加費用：

＊ワークショップ参加費：3000円（初回時に集金）

＊合宿参加費：約20,000円

交通費約4000円（東京-宇都宮往復）

宿泊費7000円×二泊

昼食代（500円×3日）

＊合宿・地元報告会参加補助費（一回、1万円程度）を距離に関わらず参加学生全員に支給予定。

＊制作補助費（1万円程度）は各チーム単位で支給。

### ○運営：

＊チーム編成：4～6人/チーム、6チーム程度を編成。

＊チューター制度：ランドスケープ設計実務者（RLA）、教員を中心に指導、助言を行う。

### ○スケジュール：

・8/10（土）：事前ブリーフィング・研究会 於：東京農業大学

・8/16（金）・17（土）・18（日） 2泊3日：石川町 現地合宿ワークショップ

・9～10月：中間発表（東京農業大学、他）1～2回

・10/25（土）：ワークショップ最終成果発表（関東支部大会）於：東京農業大学

・10～11月：他地域支部大会における発表（予定）

・12月：石川町 地元報告会

### ○合宿プログラム（詳細は今後調整）

移動：マイクロバス（宇都宮駅まで送迎）2台で移動×3日間

宿泊：石川町内旅館

発表等会場：石川町内施設

1日目：8/16（金）目標：現地環境・産業の視察→環境資産の発見

2日目：8/17（土）目標：地元関係者、避難地域の住民との対話→人文環境のイメージング

3日目：8/18（日）目標：課題の整理と将来像のブレスト

### ■応募方法

○資格：大学 学部生・大学院生・研究生（学校、学部、学年、居住地域は問わない）

○レポート：下記レポートをEメールにて担当事務局宛にお送り下さい。

レポートはチーム編成の検討資料となります。

1) 学校、学部、学年、氏名、メールアドレス（PC用が望ましい）

2) 以下に対する意見レポートを添付。（a, b 含み 400 字程度）

a. テーマに対する問題意識

b. サマースタジオへの参加動機

○締切：**2013. 07. 26（金）必着**

### ■問合せ、提出先

○担当事務局：187-0022 東京都小平市花小金井 1-9-2-201

（株）プレイステディア内 霜田亮祐（関東支部運営委員本企画総括）

TEL：042-460-5801 FAX：042-460-5802

E-mail：**ss2013.jila.kanto@gmail.com**（本企画専用アドレス）